

グリーンイノベーションについて

(考え方整理のたたき台)

(案)

平成 21 年 10 月 8 日

1. グリーンイノベーションとは、多くの国民が関わる広範囲な分野を対象とするものであり、具体的には

○環境・資源・エネルギー分野の革新的な技術等の研究開発と成果の実利用・普及のためのシステム転換の一体的推進に加え、

○新たな発想を活用することによるライフスタイルやビジネススタイルの転換

○地域における農林業の再生、まちづくり（緑のダム、コンパクトシティ等）

など、生活・地域社会システムの転換及び新産業創出により、環境、資源（天然資源、食料資源等）、エネルギー等の地球規模での制約となる課題解決に貢献し、経済と環境の両立により世界と日本の成長の原動力となるもの。

グリーンイノベーションは低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の構築にも通じるものである。

2. 科学技術サイドから、中心となる環境・資源・エネルギー分野のグリーンイノベーションの推進に当たっては、

○我が国発の既存のエネルギー効率の高い技術の国内外への幅広い普及

○太陽電池（太陽光発電）、蓄電池、燃料電池、超伝導、バイオマス、グリーンケミストリー、CCS（CO₂の回収・貯留）等の革新的技術の研究開発の加速

○より長期的な観点から、新たな科学的・技術的知見の「発掘」と「統合」による環境・資源・エネルギー分野におけるブレークスルー技術の研究開発

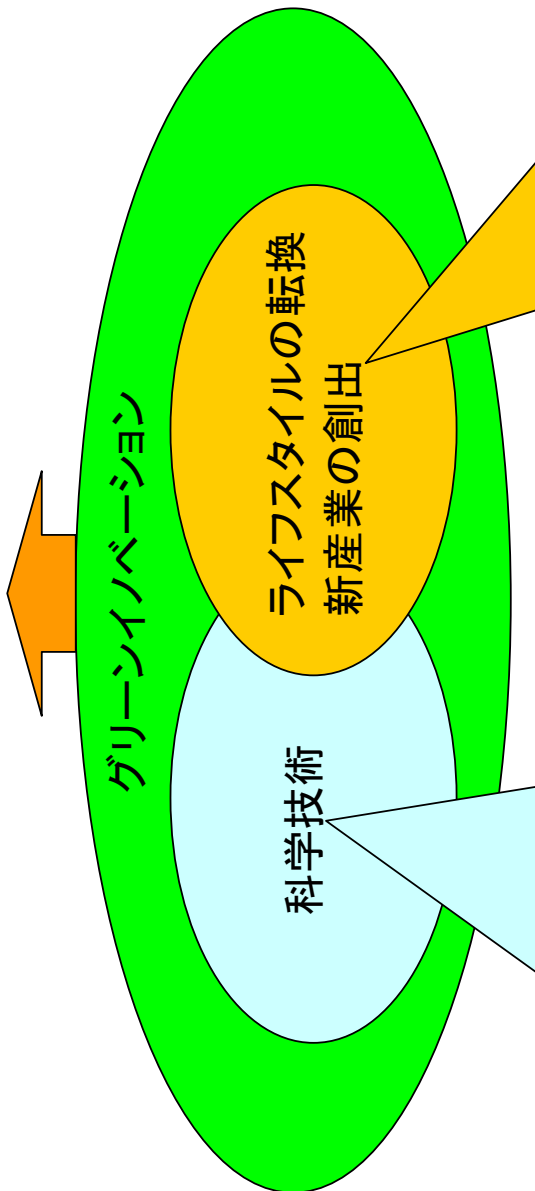
を研究成果の実利用・普及に障害となる社会システム転換と一体的に推進することが考えられる。

グリーンイノベーションとは
(考え方の整理のたたき台)

持続可能な成長の原動力

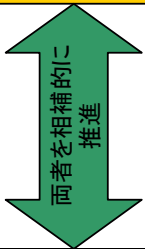
温室効果ガス削減目標の達成

経済と環境の両立
人類の抱える課題解決(地球環境保全・食料問題等)への貢献
低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現



科学技術

- 既存のエネルギー効率の高い技術の普及のための支援(税制等)、同技術の一層の向上
- 革新的技術(太陽電池等)の研究開発の加速、革新的技術の円滑な実利用・普及のための環境整備(社会インフラの構築や規制体系等の整備等)
- 新たな科学技術の知見の発掘と統合による環境・資源・エネルギー分野におけるブレークスルー技術の研究開発
- 鳩山イニシアティブによる知財保護と両立した途上国への低炭素技術の移転等



ライフスタイルの転換
新産業の創出

- 環境教育を通じた国民の意識変革、ライフスタイル・ビジネススタイルの変革(省エネの一層の徹底、MOTTAINAI、クールビズ)
- 地域システムの変革(地産地消・コンパクトシティ等)
- 環境保全型農業の推進、未利用バイオマス資源の活用等の実現等を通じた農業・林業の再生
- 環境・資源・エネルギー技術を用いた新産業創出等